

国道の拡幅により、緊急車両の通行を確保 災害時の対応力を強化

－国土強靱化予算を活用した国道125号美浦阿見拡幅（4車線化）－

事業目的

【事業目的】

- ◆一般国道125号は、千葉県を起点とし、茨城県内の県南・県西地区を東西に結び埼玉県に至る広域的な幹線道路
- ◆地域経済や文化の発展を支えると共に、災害時には緊急輸送道路の役割を担う重要な路線
- ◆しかし、一般国道125号の旧道部は霞ヶ浦の浸水想定区域内を通過していることから、災害時には冠水に伴う通行止めになるため、**バイパス（2車線）に交通が集中し、救助活動等の妨げ**になることが懸念される **【課題】**

【位置図】



拡幅整備

国土強靱化予算を用いて、延長8.5 kmの**一般国道125号 美浦阿見拡幅事業に着手！**

（事業箇所：美浦村大谷～阿見町竹来、幅員：25m（4車線・両側歩道））

バイパスの4車線化の整備を進め、**2025年2月28日に全線が供用開始！**



冠水の影響のないバイパスの交通容量を拡大し、
災害時における緊急輸送道路としての機能を強化！！

ルート概要

